

経済レポート

2018(平成30)年度 新入社員意識調査アンケート結果【大阪版】

～仕事に意欲的な男性社員、安定を重視する女性社員～

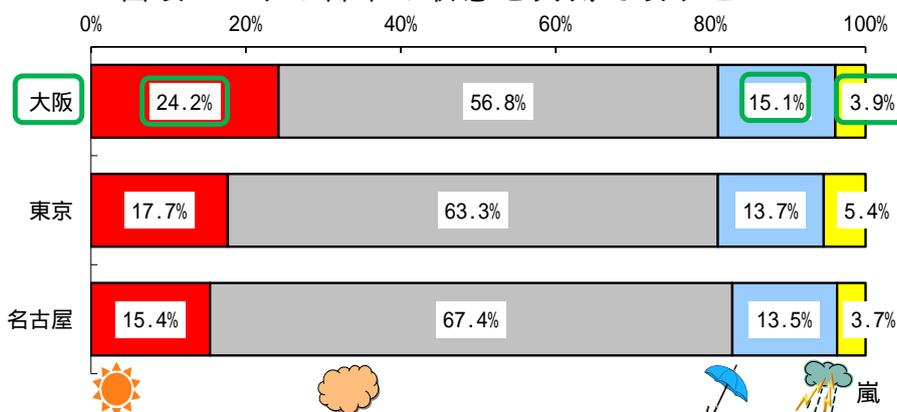
調査部 研究員 土志田 るり子

日本の現状に対する見方は改善

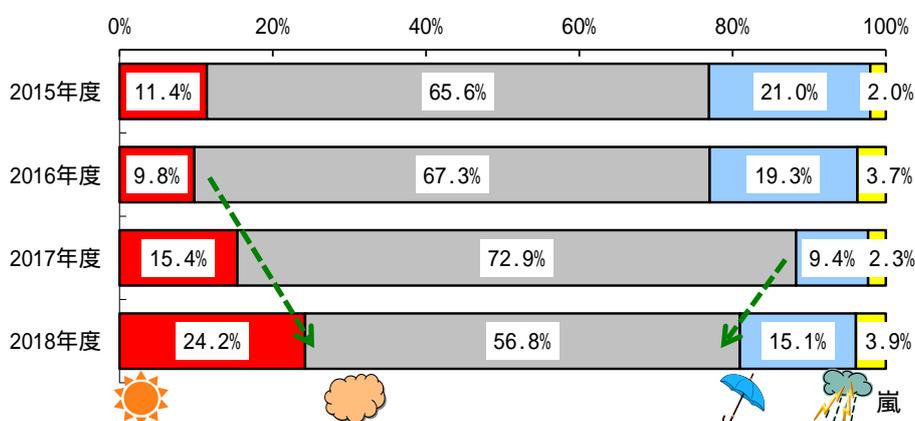
今の日本の状態をどう思うか、新入社員に天気(晴、曇り、雨、嵐)で表してもらったところ、最も多く選ばれたのは「曇り」(56.8%)であった(図表1)。もっとも、「晴」と答えた人の割合は24.2%で、東京(17.7%)や名古屋(15.4%)よりも高く、大阪の新入社員は他地域よりも日本の現状を明るいと判断している。関西圏を訪れる外国人が増えており、他の地域よりもインバウンド消費が好調なことも影響している可能性がある。

さらに、2015年度以降の推移を見ると、「晴」と答えた人の割合は増加が続いており、新入社員の心理は過去と比べても改善していると考えられる(図表2)。ただし、「雨」や「嵐」の回答割合は、過去の水準よりは低いものの、前年からは増加している。

図表1 今の日本の状態を天気で表すと？



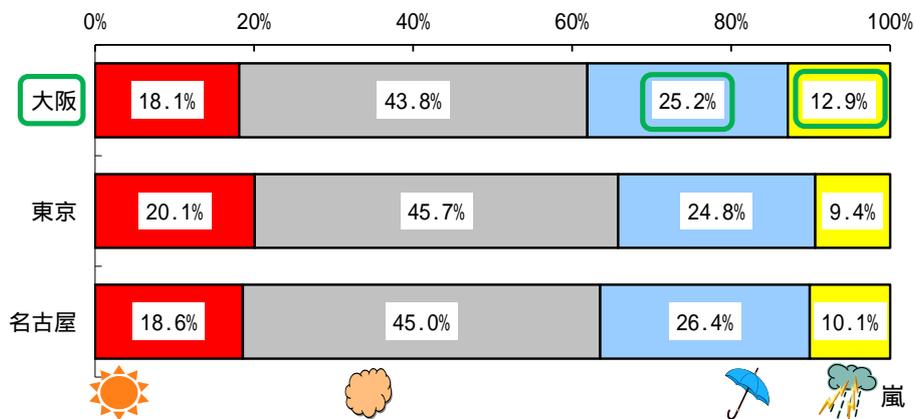
図表2 今の日本の状態を天気で表すと？(大阪地区推移)



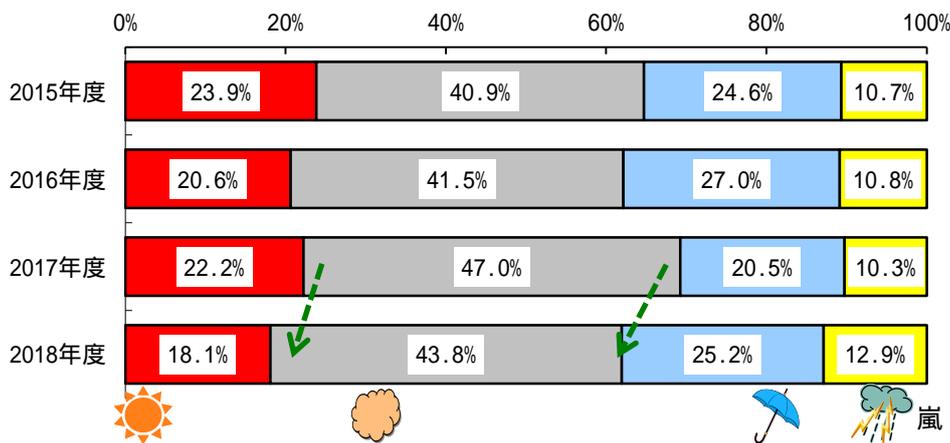
10年後の日本の状態についても尋ねたところ、最も多かった回答は「曇り」(43.8%)であったが、現在の日本の状態に関する質問と比べると、「曇り」の回答割合は低下している(図表3)。また、「晴」(18.1%)と答えた人は「現在」より少ない一方で、「雨」(20.5%)や「嵐」(10.3%)との回答は「現在」より多い。東京や名古屋と比べても、若干ではあるが悲観的な見方が強いようだ。

過去からの推移を見ると、「晴」と答えた人の割合は2017年度からは低下し、逆に「雨」や「嵐」の回答割合は上昇している(図表4)。足元の状況については明るい見方が強まっている一方で、将来に対する不安感は強くなっているようだ。

図表3 10年後の日本の状態を天気で表すと？



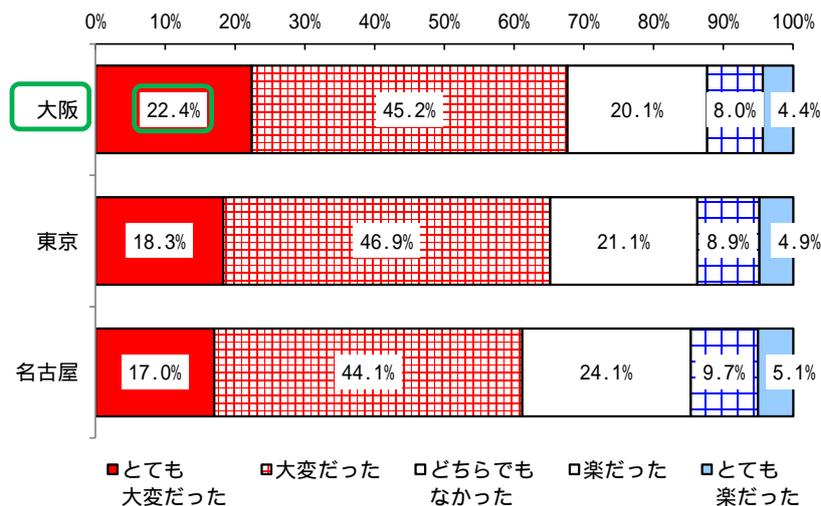
図表4 10年後の日本の状態を天気で表すと？(大阪地区推移)



## 大阪の就職活動は期間が長く大変

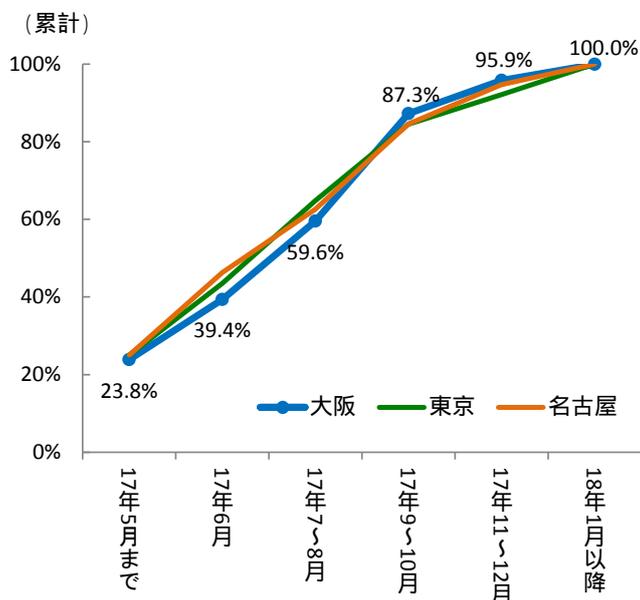
大阪の新入社員に就職活動の感想を尋ねると、「とても大変だった」(22.4%)が他の地区よりも多かった(図表5)。「大変だった」と合わせると約7割であるうえ、「とても楽だった」と「楽だった」は他の地区よりも少なかった。

図表5 就職活動の感想



就職活動を「大変だった」と振り返る新入社員が大阪に多いのはなぜなのだろうか。図表6は最初の内定が出た時期を尋ねた結果を、累計で示したものであるが、大阪の新入社員は最初の内定が出た時期が他の地域よりも遅い。企業が内定を出す時期が遅い傾向にあるのか、あるいは、Uターン就活などの実施も含めて、新入社員が内定を得るまでに時間がかかったのか、理由は定かでないものの、長期戦を強いられた人が多かったことが大変さに結びついた可能性がある。

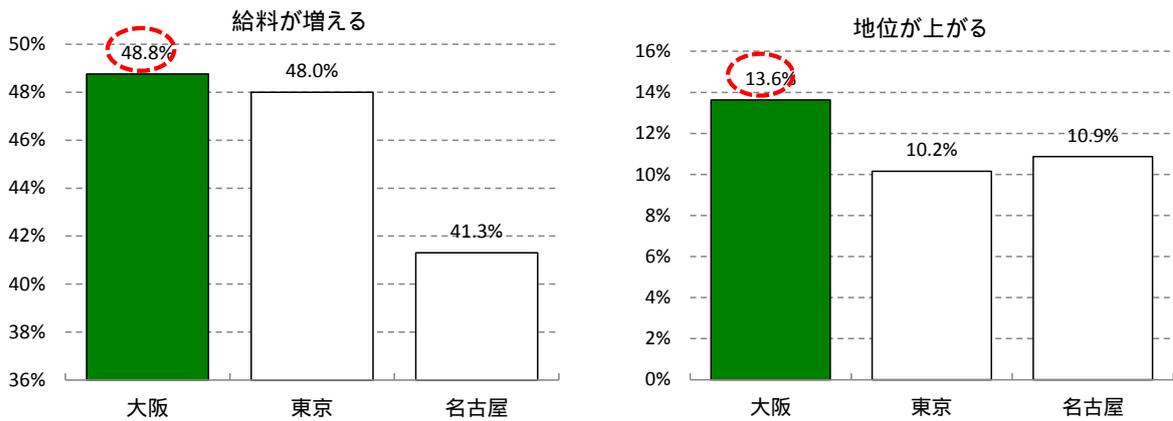
図表6 最初の内定が出た時期(累計)



## 仕事に意欲的な大阪の男性

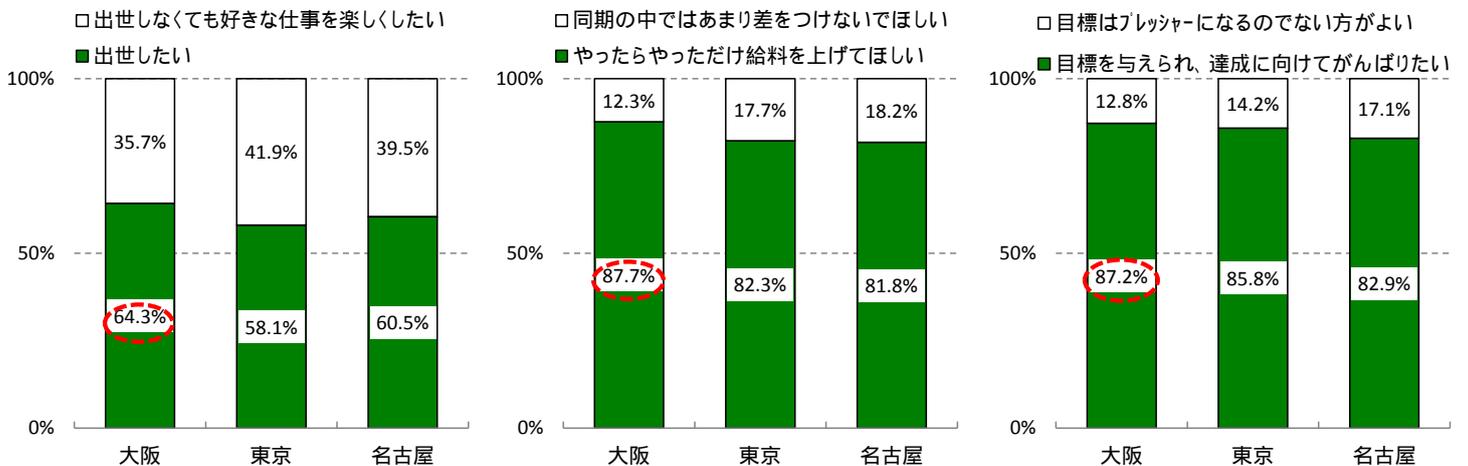
男性の新入社員に会社に望むことを上位3つまで聞いた結果、多く選ばれたものから順に「人間関係がよい」、「自分の能力の発揮・向上ができる」、「給料が増える」であった。いずれも東京及び名古屋と同順であるが、3位の「給料が増える」を回答した人の割合は、大阪で最も高かった（図表7左）。また、順位は最下位ではあるが、「地位が上がる」の選択割合も大阪が最も高かった（図表7右）。

図表7 会社に望むこと - 「給料が増える」・「地位が上がる」(男性)

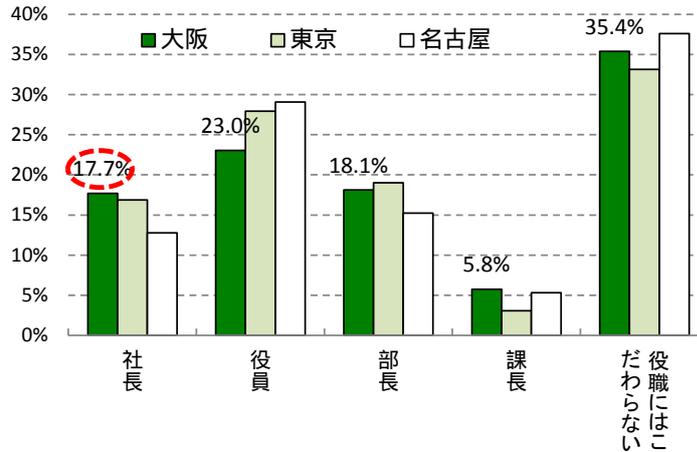


さらに、就労意識について、「出世したい」、「やったらやっただけ給料を上げてほしい」、「目標を与えられ、達成に向けて頑張りたい」と回答した人の割合も、東京や名古屋と比べて高い（図表8）。仕事に意欲的で、出世や給料アップを望む、野心的な新入社員が多いと言える。出世意欲の強さは、どの役職まで出世したいかを尋ねた結果にも表れており、「社長」と回答した人の割合が他地域よりも高くなっている（図表9）。

図表8 就業意識 出世・給料・目標 (男性)

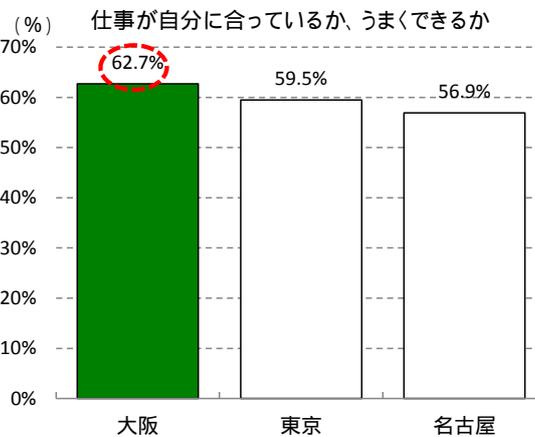


図表 9 どの役職まで出世したいか（男性）

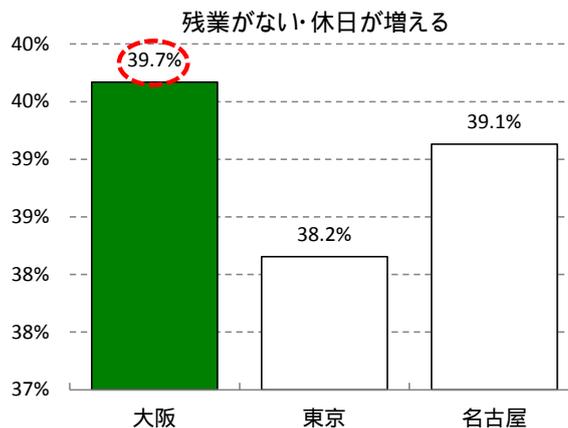


ただし、実際に「仕事が自分に合っているか、うまくできるか」という点については不安を抱えている人が多い（図表 10）。また、仕事に意欲的ではあっても、プライベートを犠牲にするような生活を望んでいるわけではないようだ。「残業がない・休日が増える」ことを望む新入社員の割合も高く、自分の時間を大切にする「自分ファースト」志向は引き続き強いとみられる（図表 11）。

図表 10 仕事・職場生活に関して不安なこと（男性）



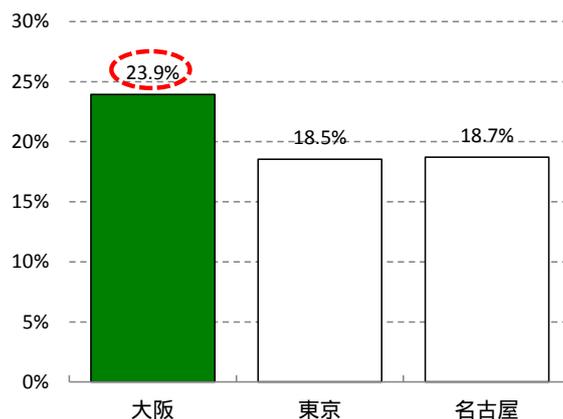
図表 11 会社に望むこと 「残業がない・休日が増える」（男性）



## 安定を重視する大阪の女性

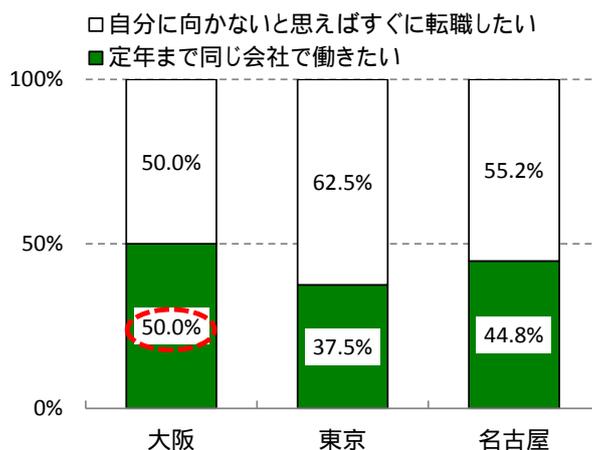
大阪の女性新入社員に会社を選んだ基準を尋ねたところ、「雰囲気が良い」(54.2%)が最多で、続いて「仕事のやりがいがある」(31.7%)となった。この結果は東京や名古屋と同じであるが、3番目の「業績が安定している」を挙げた人が23.9%と、他の地域と比べて多かった(図表12)。

図表12 会社を選んだ基準 「業績が安定している」(女性)



さらに、「定年まで同じ会社で働きたい」と「自分に向かないと思えばすぐに転職したい」のいずれか、自身の考えに近い方を選んでもらったところ、「定年まで同じ会社で働きたい」との回答が半数に上った(図表13)。半数は転職も視野に入れているものの、東京や名古屋と比べると会社に対する愛着が強いことも読み取れる。

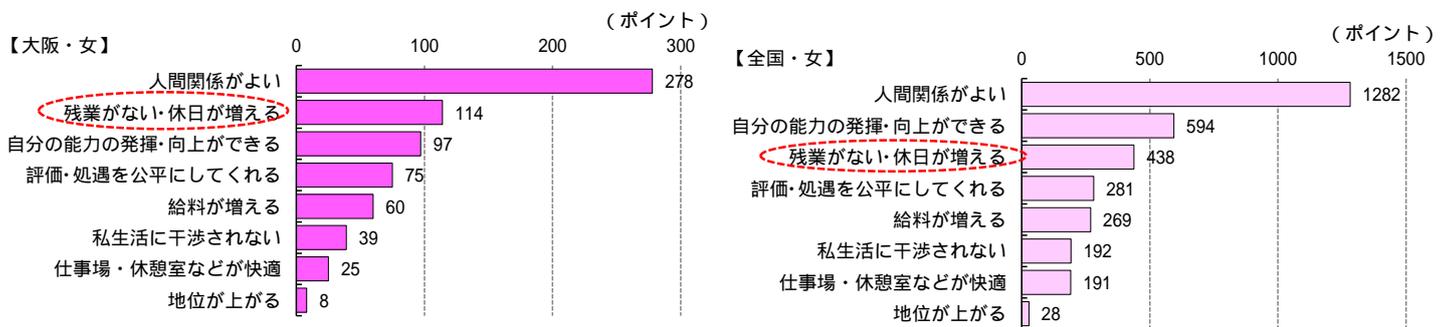
図表13 就労意識 転職(女性)



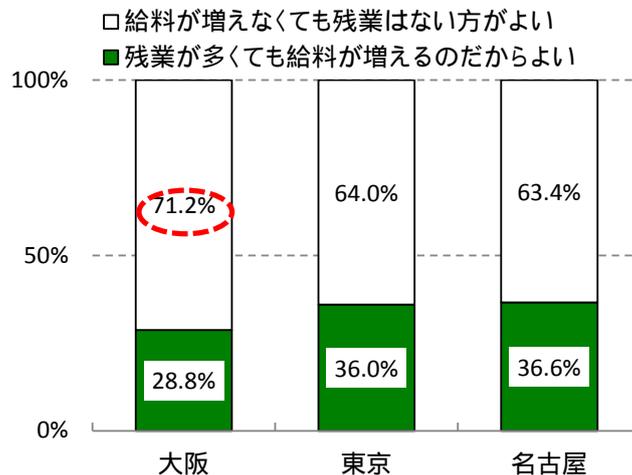
安定した環境で働くことを重視する大阪の女性であるが、働き方については、自分のペースで仕事をし、プライベートの時間もしっかり確保することを望む傾向があるようだ。会社に望むことを回答してもらい、上位3項目に点数をつけて集計したところ、「残業がない・休日が増える」が2位（全国では3位）となった（図表14）。さらに、「給料が増えなくても残業はない方がよい」と「残業が多くても給料が増えるのだからよい」のいずれか、自身の考えに近い方を選んでもらったところ、「給料が増えなくても残業はない方がよい」が71.2%と、他地域よりも多かった（図表15）。

安定的に就業を続けるために、給料が増えなくとも、自分のペースで働くことが大切だと考えているのかもしれない。

図表 14 会社に望むこと（女性）



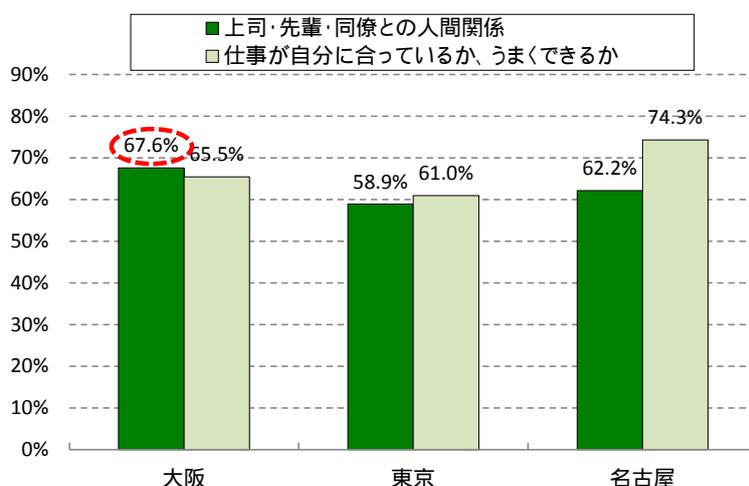
図表 15 就労意識 給料と残業（女性）



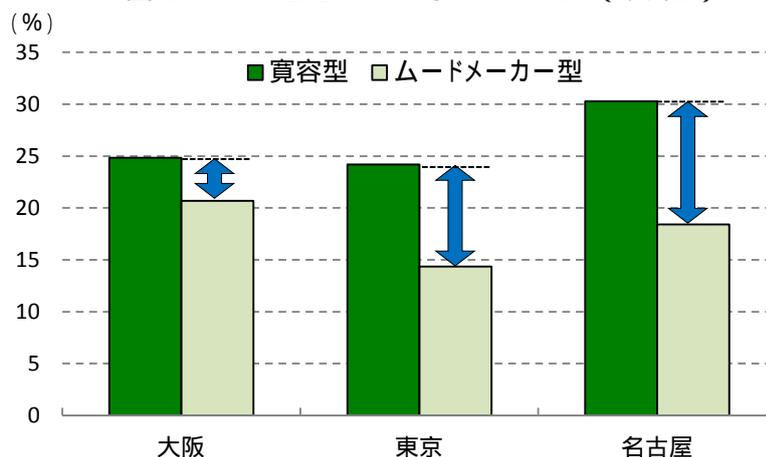
安定した環境での就業を望む大阪の女性だが、仕事や職場生活について不安に感じていることを聞くと、「上司・先輩・同僚との人間関係」(67.6%)と答えた人が最も多かった(図表16)。なお、東京と名古屋では同回答よりも「仕事が自分に合っているか、うまくできるか」が多く選ばれている。

また、人間関係を大切にするため、和やかな雰囲気を作り出してくれるようなタイプの上司を望むようだ。理想の上司のタイプを聞いた結果を見ると、大阪では1位の「寛容型」と2位の「ムードメーカー型」が拮抗しており、「ムードメーカー型」を選んだ人の割合は東京や名古屋よりも高かった(図表17)。

図表 16 仕事・職場生活に関して不安なこと(女性)



図表 17 理想の上司のタイプ(女性)

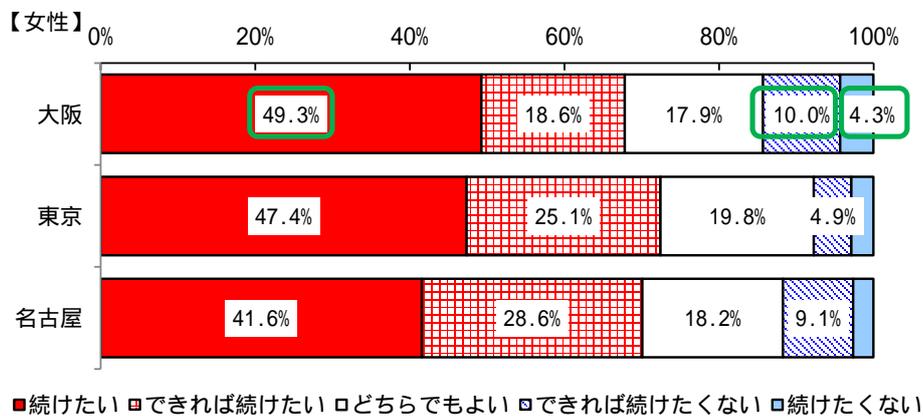


## 女性は結婚、出産後の就業継続について具体的なイメージがある

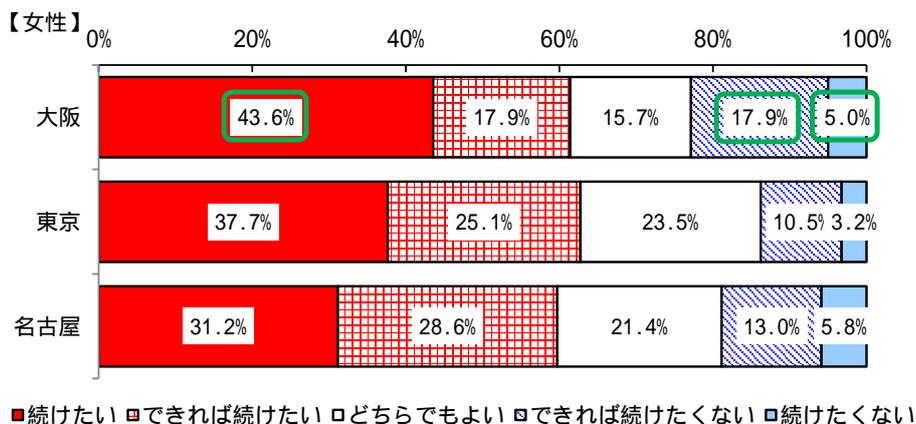
大阪の女性に仕事とライフ・イベントに関する考え方を尋ねると、「結婚後」、「子どもが生まれた後」とも、仕事を「続けたい」と「できれば続けたい」を合わせた割合が過半数となった（図表 18、19）。大阪で特徴的なのは、「続けたい」という明確な回答の比率が東京や名古屋より高い点である。安定した職業生活を望む大阪の女性は、私生活に合わせたペースで、家庭と仕事を両立させていきたいと考えているとみられる。

もっとも、「結婚後」、「子どもが生まれた後」とも、「続けたくない」と「できれば続けたくない」を合わせた割合は他地域よりも高く、「どちらでもよい」は少ない。まだ就職したばかりではあるが、自身の仕事の続け方について、より具体的なイメージを持っている人が多いと考えられる。

図表 18 結婚後も仕事を続けたいか（女性）



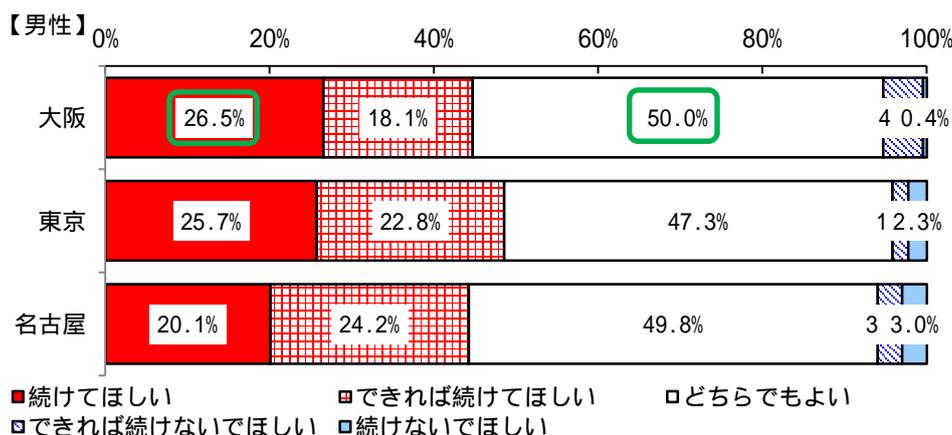
図表 19 子どもが生まれた後も仕事を続けたいか（女性）



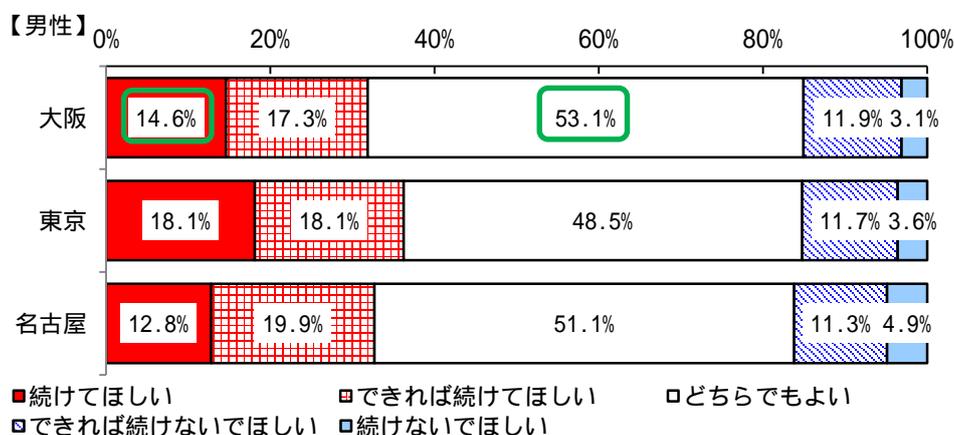
大阪の女性には、結婚も仕事を「続けたい」という明確な希望がある人が多いが、男性もパートナーに対し、結婚後も仕事を「続けてほしい」と考えている人が多い(図表 20)。

ただし、結婚後、子どもが生まれた後とも、パートナーが仕事を続けることに関して「どちらでもよい」と考えている人が 50% 以上となっている(図表 21)。大阪の女性ははっきりした意思を持っている傾向があるためか、男性側は、相手の意思も含め、周囲の状況によると考える人が多いようだ。

図表 20 結婚後もパートナーに仕事を続けてほしいか(男性)



図表 21 子どもが生まれた後もパートナーに仕事を続けてほしいか(男性)



- ご利用に際して -

- 本資料は、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
- また、本資料は、執筆者の見解に基づき作成されたものであり、当社の統一的な見解を示すものではありません。
- 本資料に基づくお客様の決定、行為、及びその結果について、当社は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、お客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。
- 本資料は、著作物であり、著作権法に基づき保護されています。著作権法の定めに従い、引用する際は、必ず出所：三菱UFJリサーチ&コンサルティングと明記してください。
- 本資料の全文または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要ですので、当社までご連絡ください。